

すうがく

北海道算数数学教育会
中学校部会発行

<http://hokusuukyuu-cyuu.com/>

第69回 北海道算数数学教育研究大会



オホーツク・北見大会を振り返って

研究主題：「社会に生きる、社会に活かす」算数・数学教育の探究
中学校部会の研究主題：「生きる力」を育てる数学教育の実践研究



オホーツク・北見大会 統括事務局長
北見市立東相内中学校長 竹花 史康

オホーツクの地で31年ぶりに悲願でありました北海道算数数学教育研究大会を開催することができました。これも偏に北数教の統括事務局、中学校部会、そして関係機関各位の多大なるご支援とご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

また、中学校部会だけ日程が異なったにもかかわらず、全道各地より大変多くの方に北見まで足を運んでいただきました。小中高すべての部会において予想を大きく上回る参加人数となりましたことを大変嬉しく思っております。特に中学校部会の講習会では、席が足りなくなりご迷惑をおかけしました。お詫びするとともに、ご協力いただきありがとうございました。

私どものオホーツク管内は、数学教育の研究を進めていく上で、東西200km以上にもおよぶ広い地域のため、数学教員が一同に会することがなかなか難しく、また、小規模校が多いことから同一校に数学教師が一人しかいないという課題も抱えていました。そうした苦しい条件ではありますが、オホーツク管内算数数学教育研究会が主体となって、毎年授業公開と研修会を積み重ねてまいりました。そこで、全道規模の大きな研究大会に挑戦することで、距離や時間の壁を乗り越えながらもさらに質の高い研究を進めることができるのではないかと考え、5年計画で取り組んできたのが今回の全道大会です。

開催にあたり物理的条件の他、人事の面、小中高の連携や各学校の日程調整など問題も

多くありましたが、北数教統括本部の全面的なバックアップに支えられようやく開催することができました。

第69回大会は、若手教師が熱い思いで授業づくりに挑み、それにベテラン教師も触発されながら共に授業を構築することで、オホーツクの教師に大きな自信と希望を与えてくれました。

オホーツク大会で最も意識したことは、私たちが日常的に実践している“問題解決型の授業”をできるだけ多くの方に観ていただき、本音で授業づくりに対する意見交換をしていただくことでした。その結果、どの授業分科会におきましても、多くの方から率直な意見やアドバイスをいただき、授業者はいうまでもなく、共に授業を構築したスタッフ一同、今までに経験したことのない達成感と喜びを味わうことができました。

今改めてオホーツク大会は振り返ると、若手が大きく育ったこと、全道各地の数学関係者とのつながりをもてたこと、そして何より数学教育の未来を意識するようになったことが大きな成果と考えています。

また、北見・オホーツク大会が、札幌で開催されます日数教の全国大会に、ほんの少しでもつながることができたのであれば、これほど嬉しいことはありません。

最後に、オホーツク大会を支えていただきました皆様に重ねて心より感謝申し上げますとともに、平成28年度函館大会が実りある大会になりますことをご祈念申し上げます。

第69回 北海道算数数学教育研究大会を振り返って

『講習会』

会場：北見芸術文化ホール大練習室

【演題】

「数学的活動の充実を図る図形指導の工夫」

講師 坂井 裕 氏
東京学芸大学 名誉教授

『特設授業』

会場 北見市立南中学校

今年度は1日目に行われた特設授業は、以下の学年と単元名でした。それぞれ授業者に「特設授業を振り返って」という内容で執筆していただきましたので掲載させていただきます。

1年「比例と反比例」

北見市立高栄中学校 米村 隆宏

このたびは北海道算数数学教育研究大会オホーツク北見大会におきまして、特設授業の機会をいただき、本当に貴重な経験となりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

特設授業を行うにあたり、4月に異動したばかりであり、まだまだ経験の足りない私のような者が授業をすることができるのか、本当に不安でしたが、オホーツク管内算数数学教育研究会の諸先輩方や仲間助けられ、何とか終わることができました。人とのつながりの大切さを改めて実感致しました。また、研究協議では、多くの先生方からご助言をいただき、本時の目標や数学的活動の在り方について、改めて考えることができ、授業改善のポイントをいくつも与えていただきました。

本研究大会で学んだことを今後の授業改善に生かしていきたいと思っております。本当にありがとうございます。



1年「比例と反比例」

北見市立小泉中学校 野口 朝央

今回、北海道算数数学教育研究大会の特設授業の機会を与えていただきまして、本当にありがとうございます。また、これまでに指導案検討等でこの授業に関わっていただいた皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。

特設授業の実施にあたり、1年以上前から授業力向上のためにオホーツク管内数学教育研究会が主体となって各地域において月1回の公開授業を開催してきました。多くの先生方にご協力いただき、とても感謝しています。授業では反比例の導入を扱いました。結果として授業の前半が小学校、後半が中学校の内容ということで子どもたちが自分の考えを表現する時間をあまり保証できなかったことを反省しています。研究協議では問題と課題の設定の関わりなどについて、ご助言をいただきました。

本研究大会で学んだことを生かし、子どもたちの活動がより明確になるように日々実践を積み重ね、多くの子どもたちが意欲的に数学に取り組む授業を目指し努力していきたいと思っております。



2年「三角形と四角形」

北見市立北光中学校 畑中 将志

北海道算数数学教育研究大会の特設授業という話を頂き、大変光栄であると同時に、授業に対する不安もありました。ですが、オホーツク管内算数数学教育研究会の先生方には、お忙しい中、たくさんの適切なアドバイスを頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今回の授業は2年生の「二等辺三角形」ということで、二等辺三角形の底角が等しいことを、生徒たちが必要感を持って証明に取り組める問題設定を中心に授業展開を考えてきました。生徒にとってはあたりまえの内容であり、そこに必要感を持たせることに難しさを感じました。勢いだけしかない私の授業なので、反省点の多い授業となり、授業後にはたくさんのご意見を頂き、とても勉強になりました。今まで以上により良い授業を目指して、日々努力していこうと思います。



3年「相似な図形」

北見市立南中学校 若松 拓郎

今回、北海道算数数学教育研究大会の特設授業の機会をいただきまして、本当にありがとうございました。私はもとより、オホーツク管内の先生方や子どもにとって、貴重な経験となりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

特設授業の構築にあたり、1年以上前からオホーツク管内算数数学教育研究会の竹花校長先生をはじめ、多くの先生方にご協力いただきました。特設授業とはいえ、特別な授業ではなく、日常行っている自然な授業を全道の先生方に見てもらおうと、日常的に相馬一彦氏の「問題解決の授業」を実践してきました。研究協議では、多くの先生方に、本授業の主なテーマである「数学的活動の充実」についてご助言をいただきました。本時の目標を達成するための数学的活動であることが、より明確になりました。

本研究大会で学んだことを生かし、子どもも教師も一緒に楽しみ合え、すべての子どもが目標を達成できるような「よい授業」を目指し、これからも日常の授業改善を行っていききたいと思います。



『領域別研究発表』

【学習指導法Ⅰ】

- 基調発表 札幌市中央中学校 保格 諭 先生
- 「個の考えを生かし、小集団活動に発展させる授業づくり」 札幌市八条中学校 関本 孝紀 先生
- 問題解決の授業における集団思考の改善
～集団思考のよさに着目して～ 遠軽町安国中学校 中野 正博 先生

【学習指導法Ⅱ】

- 基調発表 札幌市美香保中学校 鈴木 裕人 先生
- わかる・できる一次関数の授業の在り方
～問題解決の授業を通して、生徒の確かな学力の定着～ 小清水町小清水中学校 梶野 有美 先生
- 『既習事項を活用させ、数学的な見方や考え方を育む工夫』 札幌市北都中学校 高橋 靖昌 先生

【問題解決・課題学習】

- 基調発表 札幌市札幌中学校 競 啓太 先生
- 生徒の数学的思考力・判断力等を高める授業の研究
～試行錯誤場面を位置付けた問題解決の授業実践～ 釧路市桜が丘中学校 溝渕 修也 先生
- 問題解決の授業における個人思考のあり方に関する考察 斜里町斜里中学校 渡辺 友章 先生

【学習指導法Ⅲ 教材・教育機器】

- 基調発表 札幌市東栄中学校 小林 裕幸 先生
- 「小・中学校の系統性を意識した指導について」 函館市戸倉中学校 永吉 幸平 先生
- 小・中学校の学習内容を見通した授業作りの考察 旭川市春光台中学校 大塚 健之 先生

第97回全国算数・数学教育研究大会(北海道)大会 第70回記念北海道算数数学教育研究大会札幌大会 のお誘い ～オール北海道で大会の成功を～

日数教北海道大会実行委員会 事務局次長
札幌市立上野幌中学校長 宮 森 正 志



学年末を控え、多忙感にも拍車がかかる時期ですが、北数教会員の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日数教北海道大会が平成27年8月6日(木)、7日(金)に開催されます。4日(火)、5日(水)の講習会も含めると、開催日程は4日間に渡り、多くの運営スタッフの協力が必要です。昭和36年(1961年)以来、実に54年ぶりとなる北海道での開催を成功させるべく、これまで様々な機会を通じて皆様のご協力をお願いしてきたところですが、いつの間にか大会まで半年を切ってしまいました。ここで、現在の進捗状況をお知らせいたします。

大会のホームページでは、昨年12月1日から研究発表とポスターセッションの受付が始まりました。夏の北海道で開催される大会ということもあり、申し込みが殺到するものと予想していたのですが、意外にも出足が鈍く、各校種部会とも締め切り日である1月31日が間近に迫っても想定していた発表本数になかなか届かない状況にありました。他校種部会が締め切りを延長する中、中学校部会だけは当初の予定通り締め切ることとなりましたが、締め切り直前の数日間で一気に申し込みが増え、最終的に158本の研究発表となりました。北海道からの発表は52本で、これも各ブロックにおいて熱心な働きかけや取組をしていただいたおかげと、心より感謝申し上げます。分科会会場となる札幌市立向陵中学校では、1教室当たり8本で15教室を想定していたのですが、20教室に増えることとなりました。それに伴って、司会者等の必要数も増え、スタッフの確保に向けて重ねてご支援をお願いする次第です。合わせて、道内の校長先生方に助言者を依頼することとなりますので、よろしく願いいたします。

講習会につきましては、すでに講師の方々は確定しておりましたが、内容や順番もほぼ固まりました。あつという間に200名の定員に達するのではないかと期待しているところです。また、静岡大学の國宗進教授をお迎えしての部会講演会の準備も着々と進んでおり、会場となる札幌市民ホールとも入念な打合せを行っているところです。

今大会における初の試みとして、閉会式は札幌市立桑園小学校で開催しているものを各分科会会場へWeb配信する形で実施します。日数教本部の支援をいただきながら、確実に成功させたいと考えています。

先にも述べましたが、大会を成功させるためには多くの運営スタッフの協力が欠かせません。事務局では、年度内にスタッフを確定し、新年度からは、より多くの皆様に参加していただけるよう呼びかけていく予定であります。各ブロックで参加体制を確立していただければ幸いです。

3月中には、大会の詳細な内容を掲載した7万部の2次案内が全国に向けて発信されます。そして、いよいよ平成27年4月1日からは、大会参加の事前申込受付がホームページ上で開始されます。日数教大会に参加するために、日数教会員である必要は全くありません。参加費はやや高めですが、事前申込であれば6,000円と北数教大会に少し上乗せすればよいのです。54年ぶりに、全国の数学に携わる方々の貴重な研究成果に触れ、著名な方から学ぶことのできる絶好の機会が北海道にやってくるのです。これを生かさない手はありません。皆様の参加を心よりお待ちしております。そして、心のコもったおもてなしで全国の皆様をお迎えし、オール北海道で日数教大会を成功させましょう。

第97回全国算数・数学教育研究（北海道）大会 第70回記念北海道算数数学教育研究大会札幌大会

日本数学教育学会（日数教）が主催する全国算数・数学教育研究（北海道）大会が来年にせまりました。3校種あわせて全国から2,200人以上の参加者が予想されます。中学校の講習会では、全国各地から6名の講師が、数学教育について講義をされます。その中で参加者は、今日の日本の数学教育について学ぶことができます。人数制限があり早めの申し込みが必要になります。また、中学校の分科会では、道内の発表をふくめ全国から100本程度の研究発表が予定されています。その中から興味のある研究発表（午前4本、午後4本程度）を選択し、そして学習後は討議に参加することができます。北海道での開催は54年ぶりになります。ぜひ、本道から多くの参加者を期待したいと思います。北数教会員の皆様におかれましては、運営に携わっていただく場合もあるかと思ひます。どうかよろしくお祈りいたします。

【1】研究主題 **社会に生きる算数・数学教育**

【2】日程 **平成27年（2015年）**（参加者関係分）

		9:00	9:30	11:20	12:40	14:30	14:40	16:30	
講習会	8月4日（火）	受付	講習会（Ⅰ）	昼食	講習会（Ⅱ）	休憩	講習会（Ⅲ）		
	8月5日（水）	受付	講習会（Ⅳ）	昼食	講習会（Ⅴ）	休憩	講習会（Ⅵ）		
		9:00	9:30	12:30	14:00	17:00			
大会	8月6日（木）	受付	開会式・シンポジウム	昼食・移動	部会講演・部会総会		交流会		
	8月7日（金）	受付	分科会（Ⅰ）	昼食	分科会（Ⅱ）	閉会式			
		9:00	9:30	12:25	13:30	16:30	17:00		

今年度の鳥取大会から「交流会」が行われる予定です。札幌大会でも予定しています。全国の数学教育者と交流をしてみませんか。



【3】会場（中学校関係分）

講習会（中）・・・北海道建設会館（北4条西3丁目）
開会式、シンポジウム・・・ニトリ文化ホール（北1条西12丁目）
部会講演・部会総会（中）・・・札幌市民ホール
分科会（中）・・・札幌市立向陵中学校
閉会式・・・各分科会会場

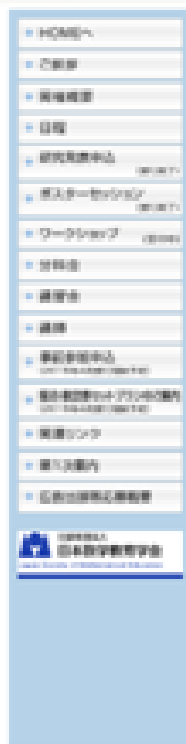
【4】大会参加費

事前参加費：一般6,000円 当日参加費：6,500円
講習会受講料：別途4,000円
ただし、日数教会員、市民・学生（教員除く）は割引



★ホームページを見ていただくために★

北数教中学校部会のホームページを平成23年度より変更をしています。



最新のお知らせ

- 2015/02/13 北海道算数数学教育研究会が改題しました。
- 2015/02/10 北海道算数学会の改題が正式に決定しました。
- 2015/01/30 北海道算数学会の改題が正式に決定しました。

北海道算数学会 北海道算数教育研究会
〒064-0802 札幌市中央区南一条西五丁目10番1号
TEL: 011-280-8800 Fax: 011-280-2732
E-mail: kanben@math.ed.jp
(北海道) 月～金 9:00～17:00 (注) 札幌市中央区

『指導案集』という項目を設けて10月の大会で行われた特設授業の指導案をPDFで載せていくことにしました。

残念ながら大会に参加できなかった会員のため、またより多くの方に北数教に興味を持っていただくためにも毎年掲載していく予定です。

今後も見やすく、役に立つホームページを目指していきたいと思っていますので、どうかよろしくをお願いします。

この件につきまして何かありましたら事務局までご連絡ください。



< 編集後記 >

北数教中学校部会会報『すうがく』の第28号をお届けいたします。多くの先生に執筆をご協力いただきました。ありがとうございました。北数教も平成27年度の第70回大会は全国大会を兼ねています。今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。学校や学級、そして部活動などに熱心に指導されている諸先生方にも、ぜひ参加していただき、北海道算数数学教育会の輪を広げていきたいと考えております。

(文責: 札幌・八条中 関本孝紀)

